

競技・審判上の確認事項

競技委員長 佐藤 充昭

審判委員長 尾上 セナ

- (1) 競技はすべて3セットマッチとします。(3セット目は15点まで。デュースの場合は2点差がつくまで)
- (2) 各試合の記録、線審、点示は指定されたチームが担当してください。(別途タイムテーブルに記載)
- (3) 試合開始時刻に15分以上遅れた場合は棄権とみなします。追い込み方式をとりますので、各チームは前試合の進行状況に十分注意してください。
- (4) 申し込み時(期限内の変更分を含む)に登録された18名以内の選手についての変更(登録選手の追加、番号の変更、誤りの訂正も含む)は一切認められません。監督、コーチ、マネージャーについては代表者会議において変更の届け出を受け付けます。登録された18名の中から試合毎に14名以内(13名以上の場合リベロは2名)、各試合の最終エントリー方法は以下のように運用します。
 - ① ベンチ入り最終メンバーの手続きは試合を行うコートの記録席で行います。
 - ② 記録用紙にあらかじめ両チームの大会エントリーメンバー全員を記入しておきますので、チーム代表者はその中からベンチ入りしないメンバーを取り消し線で削除し、リベロの選手を記入してください。
- (6) 各試合への最終エントリーメンバー以外の者のベンチへの着席や公式練習への参加は禁止します。
- (7) 監督、コーチ、マネージャーは、試合中、それぞれの役員マークを左胸部につけてください。つけていない場合にはベンチ入りを禁止します。
- (8) プロトコールでのトスは、第1試合では競技開始時刻の11分前、それ以降は前試合終了後、10分後を目安に各コートの記録席前にて行います。その後ライン・アップ・シートを速やかに当該審判員に提出してください。
試合が連続する場合(前の試合で補助役員を行っている場合を含む)は、最低15分を基準に休息を設けます。
- (9) コートが濡れた場合のワイピングは、コート内の選手がタオルで速やかに行ってください。タイムアウト及びセット間には、ベンチの競技参加者がモップで拭いてください。
- (10) 隣接するコート試合中の場合は、空きコートでネットを使つての練習を禁止します。
- (11) ユニフォームに於いて、上下及びソックスはチーム統一したものを着用する事。
またソックスはチーム統一しているのが望ましいが、不可能なら色及び形状を揃えて下さい。
- (12) リベロは、他の競技者と対照的で異なる色のユニフォームを着用してください。この大会に限り、『L』の文字のついたベストの着用も認めます。(リベロが2名の場合は異なる色のベストを着用してください。ベストは各チームで用意してください)。
- (13) ルールの取り扱い及びアンダーウェア規程の改正があります。代表者会議にて説明します。